

総務文教委員会 会議録

開催年月日	令和8年2月9日(月)	場所	(1) 暮しステーション (2) 議会委員会室1
案 件	調査第5号「社会教育・学びのまち推進について」④		
出席委員	大西委員長、家入副委員長、橋詰委員、二宮委員、後藤委員		
欠席委員	—	事務局	菊地
意見交換	(一社) 富良野デザイン会議 暮しステーション		
開会時刻	13時15分	実会議時間	(1) 2時間11分 (2) 0時間56分
	15:26~15:49 (23) 16:32~16:39 (07) 16:52~17:11 (19)	休憩時間	0時間49分
閉会時刻	17時11分	延会議時間	3時間56分
次回日程	令和8年2月19日(木) 13時30分		
要点記録	<p>〈概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 暮しステーションでの意見交換(至: 暮しステーション) <ul style="list-style-type: none"> ・ 暮しステーションでは、「まちづくりの一翼を担う」という理念のもと、従来の学校教育や家庭教育の枠を超えた「社会教育」を実践している。その最大の特徴は、「まぜて学ぶ」というキーワードに象徴される多世代交流型の学習形態にある。高齢者の知恵と子供たちの創造性を融合させ、地域への愛着(シビックプライド)を醸成すると同時に、将来的な移住・定住の促進や健康寿命の延伸、さらには新たな市場(マーケット)の創出までも視野に入れた活動を展開している。 ・ 取り組んできた事例を追いながら意見交換を行い、行政との連携における情報発信の障壁、単年度予算に伴う事業継続性の不安なども伺えた。 ● 社会教育・学びのまち推進について(至: 議会委員会室1) <ul style="list-style-type: none"> ・ (一社) 富良野デザイン会議 暮しステーションとの意見交換を終えて、委員相互に所感を共有 		

	<ul style="list-style-type: none">✓ 社会教育士として役割のコーディネート（横のつながり）✓ 人材育成・確保⇒ 地域学校共同事業は俗人的なものになってしまっている✓ 居場所づくり、自由に集まれる場所⇒ 新しい場所を作るのは難しいので、図書館 2 階の場所を改良する必要がある✓ 地域連携⇒ 連携を広げるためには人材、ノウハウ、スキルが必要であり人材育成・確保に関わってくる <p>・ 上記内容をもって、正副委員長で報告（案）を作成する。</p>
--	---

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

総務文教委員長 大 西 三奈子